

## 抄 録

## 第30回山口県脳血管障害研究会

日 時：平成25年1月12日(土) 16:00～18:00  
場 所：ANAクラウンプラザホテル宇部3F  
「万葉の間」

当番世話人：鶴田良介（山口大学大学院医学系研究科 救急・生体侵襲制御医学）

共 催：山口県脳血管障害研究会ほか

【一般演題】（16:20～17:00）

座長 山口大学大学院医学系研究科  
救急・生体侵襲制御医学

准教授 小田泰崇 先生

## 1. 若年性頭部外傷症候群の検討

山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター

○田中 亮, 水口市子, 福田信也, 萩野泰明,  
古賀靖卓, 中原貴志, 戸谷昌樹, 藤田 基,  
河村宜克, 金田浩太郎, 小田泰崇, 鶴田良介

若年性頭部外傷症候群は、主に学童期の頭部外傷後に、一時的な意識清明期を経て急激に意識レベルが低下し、その後意識が急速に回復するという、軽症頭部外傷に続発する一連の症候群である。2009年4月から2012年8月までの期間に、当センターで若年性頭部外傷症候群の2症例を経験した。他施設での症例蓄積と併せた結果、若年性頭部外傷症候群の意識障害持続時間は約4時間であることがわかった。この症候群は若年者に特有であり、その存在があまり周知されていない。家族への説明、過剰な検査の抑制のためにも、救急現場において認識されるべき疾患概念であると考えられる。

## 2. 広範な大脳白質病変を呈した肥厚性硬膜炎の38歳女性例

山口大学大学院医学系研究科 神経内科学,  
山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学<sup>1)</sup>  
○西原秀昭, 尾本雅俊, 川井元晴, 神田 隆,  
吉川功一<sup>1)</sup>, 鈴木倫保<sup>1)</sup>

主訴は意識障害。2004年に痙攣を生じた。2008年3月頭痛の精査で施行したMRIで右前頭葉病変がみられ開頭術が施行されたが、摘出標本で腫瘍細胞はなかった。術後は日常生活に支障はなかった。2012年10月初旬から微熱が生じ、興奮や抑うつ状態が変動し入院した。入院時、発熱なく意識レベルはJCS3Aで神経学的には局在病変を疑う所見はなかった。血液検査では軽度の炎症所見がみられたが、ANCA、各種自己抗体は陰性であった。脳脊髄液では細胞数増多、蛋白高値をみとめ、IgG indexは1.32と上昇しオリゴクローナルバンドが陽性であった。MRIでは右前頭葉白質病変が拡大し、硬膜には肥厚と造影効果のみとめた。右前頭葉摘除標本を再検討し、髄膜と脳実質内に血管炎像のみとめ、血管炎機序による硬膜炎と脳実質病変と診断しシクロホスファミドパルスとステロイド内服を行い、精神症状は速やかに改善した。脳実質病変が先行し、後に硬膜肥厚を来たした点が特徴的であった。

## 3. 脳梗塞超急性期治療 Drip ship treatment

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科  
○石原秀行, 岡 史朗, 奥 高行, 貞廣浩和,  
末廣栄一, 米田 浩, 小泉博靖, 白尾敏之,  
田中信宏, 五島久陽, 杉本至健, 藤山雄一,  
山根亜希子, 鈴木倫保

【背景】rt-PA静注療法無効例に対する脳血管内治療の役割が期待されているが、脳血管内治療実施施設は多くはない。山口県では、高度救命救急患者の搬送にはドクターヘリが導入され、脳主幹動脈急性閉塞に対しても、rt-PA投与を行いながら脳血管内治療実施施設へ搬送を行い、rt-PA静注療法が無効であった場合に備えている（Drip-ship）。今回、Drip-shipされた症例を検討したので報告する。【対

象】2009年以降、関連施設で脳主幹動脈急性閉塞と診断され、rt-PA静注療法を開始後当院へ救急搬送された17例を対象とした。発症後の時間経過、治療転帰などについて検討した。【結果】搬送方法は、救急車13例、ドクターヘリ4例であった。発症から初療施設搬送は平均77分で、発症から当院搬送までの平均は244分であった。特にドクターヘリ搬送患者では発症から当院搬送までが平均163分であった。当院入院時NIHSSは平均17.3で、3ヵ月後mRS 0-2; 9例, 3-4; 5例, 5; 3例であった。予後良好であった症例は、アテローム血栓性閉塞、rt-PA静注療法著効例に多かった。一方、心原性脳塞栓症9例中6例に脳血管内治療の追加が行われ、3ヵ月後mRS 2; 1例, 3; 3例, 4; 1例, 5; 1例の結果であった。【考察】Drip-shipにおいて、心原性脳塞栓の主幹動脈閉塞に対するrt-PA静

注療法後の補助治療には課題が残る結果となったが、ドクターヘリの導入により、搬送時間は著しく短縮され、時間のロスなくrt-PA静注療法無効例には血管内治療を追加できる可能性があると考えられた。

【特別講演】(17:00~18:00)

座長 山口大学大学院医学系研究科

救急・生体侵襲制御医学

教授 鶴田良介 先生

「脳卒中急性期診療の現状と課題

～病院前からER, ICU～」

日本医科大学大学院医学研究科 救急医学分野

教授 横田裕行 先生